

学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

経済学部

1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析 項目 1-1-1	分析 項目 2-1-1	分析 項目 2-1-2	分析 項目 2-2-1	分析 項目 2-2-2	分析 項目 3-1-1	分析 項目 4-1-1	分析 項目 4-2-1	分析 項目 4-2-2	分析 項目 5-1-1	分析 項目 5-1-2	分析 項目 5-2-1
経済学部	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
現代経済プログラム							⑤					
経済・経営統合プログラム							⑤					

自己点検・評価単位	分析 項目 6-1-1	分析 項目 6-2-1	分析 項目 6-3-1	分析 項目 6-3-2	分析 項目 6-3-3	分析 項目 6-4-1	分析 項目 6-4-2	分析 項目 6-4-3	分析 項目 6-5-1	分析 項目 6-6-1	分析 項目 6-6-2	分析 項目 6-6-3
経済学部	⑤		⑤	⑤	⑤	④	⑤	④	⑤	⑤	⑤	④
現代経済プログラム		④										
経済・経営統合プログラム		④										

自己点検・評価単位	分析 項目 6-6-4	分析 項目 6-6-5	分析 項目 7-1-1	分析 項目 7-1-2	分析 項目 8-1-1	分析 項目 8-1-2
経済学部	③	④	④	④	④	④
現代経済プログラム						
経済・経営統合プログラム						

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

## 2. 評価結果に対する総評

経済学部経済学科昼間コース（現代経済プログラム）は東広島キャンパス、夜間主コース（経済・経営統合プログラム）は東千田キャンパスを拠点としているが、両プログラムは一つのまとまりとして教育や入学者選抜にかかる決定や判断を行っていることから、原則、「経済学部」を評価の単位とする。

領域1：教育研究上の基本組織について、諸規則に基づき適切に運営されている。教員構成の変化に伴い、授業科目の廃止等により開講授業科目が減少している中でも、教育を担保するための取り組みが行われている。

領域2：内部質保証システムについて、両プログラムを所管する単一の教務委員会、単一の入学試験委員会及び学部教員会を通じて、情報共有や意思決定などが図られ、PDCA サイクルが適切に実施されている。また、本学部と関わりの深い法学部や人間社会科学研究科で開かれる研修会へも参加する機会が増えたことによって、幅広く教育研究の質保証に役立てていると言える。

領域3：教育研究活動に関する情報について、オープンキャンパスや募集要項、ホームページ等にて、受験者や保護者にもわかりやすく公表、周知することにより、説明責任を果たしている。

領域4：施設・設備及び学生支援について、特に、学生支援に関しては、学生の履修状況や成績状況を各期で確認しており、保護者とも連携しながら、適切な助言・支援を実施している。

領域5：学生の受入について、学部長が学部入学試験委員会の段階から参加することで、迅速に検証し、適切に実施している。

領域6：教育課程と学習成果について、大教室による講義と少人数教育の「演習」（「卒業論文（指導）」を含む）の特徴を活かしたカリキュラムによって、学習成果が得られている。また、AI／データサイエンスキャリアパス履修モデルや学部・修士5年一貫教育プログラムなど多様なプログラムにより、学習効果を高める取り組みを行っている。

領域7：教育の国際性について、派遣及び受入の双方ともコロナ禍の影響を受けているが、留学プログラムの更新や留学に向けてのモチベーションアップのための取り組みが継続して実施されている。

領域8：リカレント教育の推進について、社会人型・フェニックス型を実施している夜間主コースを中心に、東千田キャンパスにおいて社会人向けプログラムが実施されている。